

日限山ホーム

平成21年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1473100905	事業の開始年月日	平成17年3月1日	
		指定年月日	平成17年3月1日	
法人名	社会福祉法人 同慶会			
事業所名	日限山ホーム			
所在地	(233-0015) 横浜市港南区日限山一丁目66番6号			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18	名
		ユニット数	2	ユニット
自己評価作成日	平成21年11月8日	評価結果 市町村受理日	平成22年6月7日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://center.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>利用者の方々が、穏やかに過ごせるように、また一つの家族としての暖かさを感じる事が出来るように、全スタッフが対応しております。</p>

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会		
所在地	神奈川県横浜市神奈川区沢渡4-2		
訪問調査日	平成21年12月10日	評価機関 評価決定日	平成22年2月8日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>◆自治会に加入し、盆踊りや公園の花植えに利用者と職員が参加したり、職員は会合等にも出席している。また、地域の有志による「ひまわりの会」に利用者と職員が参加してカラオケや詩吟等を楽しんだり、大正琴や歌、折り紙等のボランティアが来所するなど、地域の方々と交流を図っている。</p> <p>◆法人の年間研修計画に基づき、法人内研修に参加し、サービスの質の向上に努めている。</p> <p>◆話し合いたい内容を事前に職員から聞き、カンファレンスの議題を決めるなど、日々の利用者との関わりを通じた職員の気づきや意見を基に、利用者の支援に取り組んでいる。</p> <p>◆災害発生時に備えて、消防署の協力の下、夜間の想定も含めた避難訓練を定期的実施している。また今後に向けて、災害時は事業所の救援だけでなく、事業所から地域に対する支援を含めて話し合いを行っている。</p>

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

日限山ホーム

事業所名	日限山ホーム
ユニット名	1階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

日限山ホーム

事業所名	日限山ホーム
ユニット名	2階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

日限山ホーム

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入居者の人達が、近隣住民の人達の関わりを持つようにスタッフは、サポートしています。	法人の理念を、入職時の新人研修で学んでいる。事業所独自の理念を設立時に作成し、職員は理念にある「お互い様」の精神で、利用者の持てる力を十分に発揮できる生活の実現に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	民生委員の方を通じて、自治会の集いに参加したり、近隣の住民の方々にホームの行事を伝えたりして交流を持つようにしています。	自治会に加入し、盆踊りや公園の花植えに参加したり、職員は会合等にも出席している。地域の集いに参加し、カラオケや詩吟等を楽しんでいる。近隣の方とは掃除や散歩時に挨拶を交したり、事業所の行事に招待している。大正琴や歌、折り紙等のボランティアの来所もある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	入居者の方々と住民が交流して、歌を歌ったり、折り紙を折ったりする事により、日限山ホームの状況を見てもらうようにしています。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議にて、ホームで行っている様々な事柄について報告しています。メンバーの方からの質問に対して、改善できるものは、対応していきたいと思っています。	利用者、家族、連合町内会会長、民生委員、地域包括支援センター職員等が参加し、概ね3カ月ごとに開催している。事業所の活動について説明し、自治会の活動に関する情報等を得ている。今後に向けて、近隣中学校のボランティア学習の受け入れ等について話し合っている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	現時点では、ほとんど連絡を取り合うことはありません。	区の窓口にて、運営推進会議開催の報告書を持参している。地域包括支援センターとは、介護保険法改正等の情報を得て、実際の運用方法等について相談するなどしている。	

日限山ホーム

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	前面道路の車両の交通量が多いことより事故の危険があるため、外に出てしまう入居者がある場合は、やむを得ず玄関の施錠をすることもあります。	法人で開催の身体拘束に関する研修に職員が出席し、出席者から会議の際に報告を行い、職員間で共有している。交通量の多い道路に面しているため、家族の了解を得て、玄関は施錠しているが、利用者の言動から傾向を把握し、見守りに努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体的な虐待だけでなく、精神的虐待がおきないように、職員間で余裕をもってケアを行うこと意識して業務にあたってもらっています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	自治会で行っている研修会に参加し、他のスタッフに報告するようにしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居する際に、書面に沿って説明は行っています。また、家族との信頼関係を築けるよう入居後は、入居者の状況、ホームの理念はよくお伝えしています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者、家族の意見は、ホーム長、副ホーム長に集約し、スタッフに発信するようにしています。	面会時や電話連絡の折に、家族の意見等を引き出すよう心がけている。また、運営推進会議でも、利用者、家族の意見等の把握に努めている。	

日限山ホーム

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的カンファレンスを開き、入居者の処遇以外にも意見を聞く機会を設け、職員間で対応出来るものは、その場で対処しています。	月1回開催のカンファレンス時に、職員に意見を出してもらっている。また、日々の連絡ノートを通じて、職員が意見・提案等を出しやすいようにしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	幹部会を設けて、様々な課題について議論しています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ホームでの様々な企画について代表者より承認を得ています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	系列施設の研修に参加を行っています。代表者より承認を得て行っています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ゆっくりと話を聞く場面を作って信頼関係を築くようにしています。		

日限山ホーム

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	介護計画に要望を記載して、承諾を得ています。また、入居当初は、生活の状況を適時報告するよう対応しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	介護計画を作成して、サービス内容について家族に承諾してもらおうようにしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	指示はしないような声かけを心がけています		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者の方のより所は家族であるため、外出、外泊を通じて家族内での交流を支援しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の方には、利用者の方が一番会いたいのは家族の方であると伝え、頻繁に面会に来て欲しいと伝えています。	利用者の馴染みの人の庭に出かけて、利用者と職員と一緒に花見をするなど、利用者の馴染みの人や場との関係が継続できるように支援している。	

日限山ホーム

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士が関わりことがあった時には、スタッフは自然に関係が持てるようにサポートをするように心がけています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	近隣に家族が住まれていることも多い。また、系列の特別養護老人ホームへ転居する入居者が多いため、顔を合わせると近況を伺う関係の場合もあります。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者の方が要望する事に対して出来る限り対応するようにしています。	入居時にアセスメントを行い、入居後、意見を表出できる利用者については、希望を直接聞いている。自分の意見を表出することが困難な利用者については、「利用者の思いをどのように受け止めているか」を職員からアンケート等で情報を集めて、カンファレンスを行い、本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族から、入居以前の生活を聞き、ホームでの暮らしに活かせるようにしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	些細な変化についても、スタッフからホーム長、副ホーム長に話しが上がるような体制になっています。		

日限山ホーム

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月に1回行っているカンファレンスでは、悩んでいることも項目としてあげ、意見を出し合っています。	話し合いたい内容を事前に職員から聞き、カンファレンスの議題を決めている。全職員から意見を聞き、介護計画の作成、見直しを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録には、状況変化を記載しています。また、スタッフから責任者の方へ報告、提案があり、判断して家族連絡、職員への情報を伝達しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一番に考えているのは、入居者本人の状況変化によって、病院に通院したり、気分転換を図れるような対応を素早く行えるようにしています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	日限山地区の集いに参加したり、港南幼稚園の運動会を見学したりして入居者の方が楽しんでいただけるような機会を作っています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	日限山ホーム担当として提携病院(長田病院)の医師が対応しています。そのため、適切な判断が受けられると思っています。	希望する医療機関で受診することができる。入居前からのかかりつけ医には家族が付き添い通院しているが、家族が付き添えない場合は職員が対応している。	

日限山ホーム

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	緊急時は、提携病院(長田病院)の看護師に連絡を入れ、状況報告及び対応の確認、受け入れの調整をしています。提携病院の医師が定期的にホームへ往診に来ています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	提携病院(長田病院)の医師と連携を取って情報を得ています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	提携病院(長田病院)の医師の判断により、ホームで生活が出来るか指示を受けています。現時点では終末期の対応は行わず、病院へ入院することを家族には勧めています。	ターミナルケアまでは行わない方針であり、利用者、家族には入居時に説明し、特別養護老人ホームの申し込みを行ってもらっている。法人で開催のターミナルケアに関する研修に、職員が参加している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時が発生したときに対応できるようにマニュアルを作成し、対応出来るようにしています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	開所当初より年2回の防災訓練を実施しています。また、自治会が主催する災害時訓練にもスタッフが参加しています。	避難訓練を年2回実施しており、地域の防災訓練にも職員が参加している。水・食料品は3日分を備えている。また今後に向けて、災害発生時の地域住民の受け入れについて話し合っている。	

日限山ホーム

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	かしこまった会話ではなく、年長者に対して自然体の声かけをしています。触れたくない話題は、スタッフ間で共有してしないようにしています。	法人で開催の接遇や認知症に関する研修に出席した職員から報告を行い、適切な対応について理解を図っている。トイレ誘導は、「お話があるので」などと言葉かけに工夫をして誘導している。不適切な対応の職員には、管理者が注意を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	スタッフが今してもらいたいことも、拒否があったときは無理をせず、焦らずに対応することで、利用者本人が自分の意志で動くことが出来る余裕を作るようにしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	レクリエーションや歌会を毎日実行していますが、入居者本人が参加を望まない時は、無理に参加することなく、本人の行いたいことを行ってもらっています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月に1度、カットボランティアの訪問があり、散髪を行っています。また、入居者の方によっては、近所の美容院へ付き添って行くこともあります。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	普段は業者の食材で作っていますが、誕生日や月に幾度かは普段食べられない食事を作っています。毎食後、片付けを手伝っていただいています。	テーブル拭きや片付けなど、できることを行ってもらっている。訪問調査の昼食時には、利用者と職員が食材を話題にしながら食事をしていた。誕生日には特別食を作るなど、楽しめるよう工夫している。	

日限山ホーム

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	業者の食材を利用して食事を提供していますことから、栄養バランスの片よりは少ないと考えます。嚥下障害のある方には刻み食を提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、歯磨きをしてもらっています。入居者自身がしっかりと磨けない場合は、スタッフが仕上げ磨きをしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	限られた人手の中で、出来る限りトイレでの排泄、排尿するようにしています。また、便意、尿意がある方は、訴えた際手早くトイレに行っています。	利用者一人ひとりの排泄状況を記録し、排泄パターンを把握して、タイミングを見計らい声かけなどで誘導している。日中は紙パットのみの利用にし、なるべく紙パンツにしないように工夫をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	慢性的な便秘の方は、薬を使用する対応をしていますが、毎日ヨーグルトを提供したり、水分を多く取ってもらうよう声をかけたりしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	原則は、曜日を決めて週3回昼食後に入浴していただいています。体調により入浴間隔が開いた場合は、調整して指定日以外に入浴する対応もしています。	基本的に2日に1度入浴をしてもらっている。入浴のない日は足浴を行っており、また暑い時などは適宜シャワー浴を行うようにしている。	

日限山ホーム

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一日を通して、穏やかに過ごせるようにしています。椅子に座って眠られる方もいます。コーヒーを飲むことを喜ばれる方もいます。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	病院より出ている薬の説明書は、一冊にまとめてスタッフがいつでも確認出来るようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	出来ることはお願いしてスタッフと一緒に参加してもらっています。洗濯物干し、衣類たたみ、食器の片付けなど日常的にかかわってもらっています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	入居者の方の気持ちが不安になり、気分転換をしたいときは、屋上に行くことがあります。また、地域の集いのときは、一部の入居者の方をお連れしています。	気候の良い時は、散歩に出かけたり、弁当持参で近隣の公園に出かけることもある。寒い時期は、屋上で外気浴や事業所の前を掃除している。また、利用者と職員が地域の集いに参加して、カラオケや詩吟等を楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一部のお金の管理が出来る入居者に限られますが、希望により一緒に買い物に出かけることをしています。		

日限山ホーム

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族より許可を得られた時は電話をかけたり、携帯電話の使用しています。手紙の書くことがない入居者の方には、年賀状を書いてもらい、家族に送ることもしています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間には大きな窓があり、一日中、日が差し込めています。極力空調は使用せず、自然に近い気温の中で、着る服を調整してもらっています。	ボランティアによる折り紙のサンタクロースの作品等が飾られ、季節感がある。居間は窓からの光が明るく、ソファーや可動式の畳を置き、くつろげるよう工夫をしている。清掃業者及び職員の掃除担当制により、清潔を保持している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用スペースには、食食用テーブル、ソファー、可動畳を配置して、入居者各々が好きな場所で過ごせるようにしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居されるときに、家で使用していた家具や道具を持ってくるようお願いしています。テレビ、ソファー、冷蔵庫等も好きなものを持ち込んでもらっています。	今まで使用してきた馴染みの家具や生活用品の持ち込みを推奨している。居室には、たんす、机、仏壇、冷蔵庫、テレビなどが持ち込まれ、また、家族の写真や利用者の作品など、思い思いのものが飾られている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内は、バリアフリー対応となっており、入居者の方は自由に移動できるようになっています。		

目標達成計画

事業所名

日限山ホーム

作成日

平成22年3月31日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	全職員が、ホームの理念を理解していなかった。	全職員に対して、ホームの理念を周知し、言えるようにすること。	ホーム理念を、常に職員の目に入るように、大きい紙に書いて壁に掲示する。	1ヶ月
2	2	今回の外部評価は、一人の職員で作り上げてしまった。	次回の外部評価は、出来るだけ多くの職員に参加してもらって作成していく。	1、2階に担当職員を決め、時間をかけて全職員が参加出来るよう進めて行く。	次回外部評価実施まで
3	3	運営推進会議、家族に外部評価の意義や結果報告をしていない。	報告会の場面を設けるようにする。	ホーム長、副ホーム長が外部評価の流れをしっかりと把握し、報告をする機会を設ける。	次回、外部評価までに実行する。
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。